

昨年度に引き続き法人数減少 金融円滑化法終了後、さらに減少の恐れ

内閣府の景気動向指数研究会が、景気が下降から上昇に転じた直近の「谷」の時期を平成21年3月と判定し、急激な落ち込みから着実に持ち直しつつあると公表した矢先、東日本を未曾有の大震災が襲いました。製造業を中心としたこの地域の産業に、多大なる悪影響を及ぼした事は言うまでもなく、サプライチェーンの寸断など様々な問題を引き起こしました。

震災から約一年半が経ち、歴史的円高も小康状態にあるなか、豊田市内においての景気動向を把握すべく、豊田税務署管内の法人数を調査しました。豊田税務署管内法人数については、平成19年度の7010法人をピークに減少状態にあります。

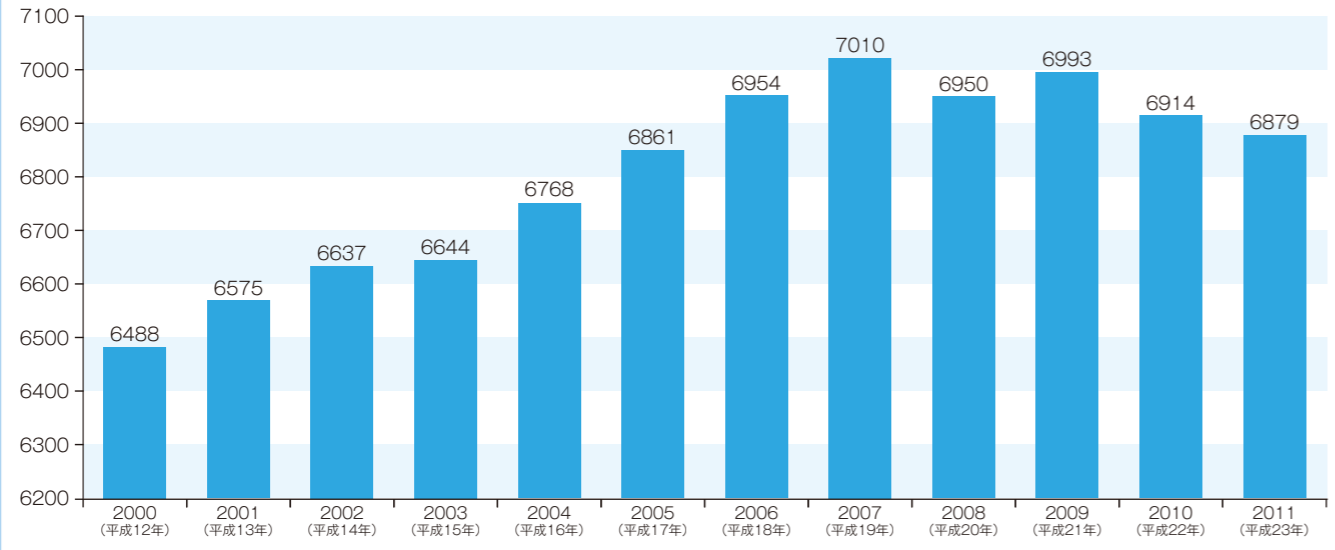
全国的にも中小企業金融円滑化法の適用後に倒産する中小企業が増えています。返済を猶予してもらったものの、欧州債務危機や東日本大震災など厳しい経済情勢が続く、業績が改善しなかったことが主因です。円滑化法の適用は全国で約40万社にのぼりますが、来年3月末の同法終了で倒産件数急増の恐れも高まっています。

「資金繰り支援だけでは抜本的な経営改善につながらない。今後は企業ごとの細やかな支援を行う態勢が必要だ。」
「資金繰りを支援しても、本業の事業改善が思ったほど進んでいない。」といった意見が多く見られます。

これに対し金融庁は、地方銀行などに対し中小企業の具体的な事業再生支援計画の策定など、より踏み込んだ支援を行うよう求め始めました。政府も官民出資ファンドの「企業再生支援機構」と各都道府県の「中小企業再生支援協議会」の連携強化やベンチャー企業などに投資する投資基金の設立を検討しています。

※事業所数は税務署登録数による。1年度期間は7月～6月とする。

豊田税務署管内法人数の推移



新春の席を華やかに彩る祝い膳
おせち

ホテルトヨタキャッスル
TEL (0565)31-2211 http://www.t-castle.co.jp

『とよたcci.mail』
広告折込サービスのご案内

イベントなどに合わせてお申し込みください。通常のDMやポスティングに比べ、安価なコストでPRが可能です。

1件当たりなんと**9.5円!!**(会員料金)

当所会報へ貴事業所の広告を折込しませんか。発行数は全会員、各地商工会議所を含め約6,300部!! 毎月1日より一斉発行しています。

■折込広告詳細

料 金	(会 員) 60,000円(税込) (非会員) 100,000円(税込)
サ イ ズ	A4 ※A4以上は折った状態で納品
納 品 日	折込希望月の前月20日前後までに完了 ※12月号へ折込希望の場合は、11月21日(水)まで
備 考	事前に広告の内容を確認させていただきます。広告の内容によっては折込サービスをご利用できない場合があります。

■広報誌『とよたcci.mail』詳細

発行部数	約6,300部
発行先	会員事業所、官公庁、関係機関、各地商工会議所
発行日	毎月1日

お問合せ 豊田商工会議所総務企画部 TEL:0565-32-4568 E-mail:somu@toyota.or.jp

雇対協通信
雇用を育み、地域社会に貢献する
8月 豊田市の有効求人倍率 **0.55** (全国0.83)

豊田市雇用対策協会では会員を募集しています。詳細は下記までお問合せください。
〒471-8506 豊田市小坂本町1-25 豊田商工会議所内 3F
TEL 0565-34-1999 FAX 0565-34-1777
E-mail koyou@work-toyota.com
URL http://www.work-toyota.com/ 担当 加納、山本

理工系大学教授等との情報交換会を開催

西三河地区6市(豊田、岡崎、刈谷、安城、西尾、碧南)の雇用対策機関と商工会議所は、去る10月18日に名鉄トヨタホテルにて『理工系大学教授等との情報交換会』を開催しました。

理工系学部を持つ大学と地元企業の橋渡しを担い、企業の人材確保や産学連携事業につなげることを目的に開催し、今年度は17大学から教授や就職担当者22名、73企業から99名が参加されました。

テーブル懇談会では企業側、大学側双方から質問や要望が出され、積極的な意見交換、情報交換が行われました。

参加大学

愛知教育大学	富山県立大学
愛知工科大学	富山大学
愛知工業大学	豊田工業高等専門学校
岐阜大学	豊田工業大学
滋賀県立大学	南山大学
静岡文化芸術大学	福井工業大学
静岡理工科大学	福井大学
大同大学	名城大学
中部大学	



「魅力のある企業づくりに活かしてほしい」と述べられた三宅会頭

情報交換会の様子

超経営計画のススメ(全12回) 第8回 資金繰り計画作成のポイント

これまで組織体制づくりや理念、計画の作成方法を通じて「利益」を根底に解説しましたが、今回のテーマは「資金」です。

お客様から「これだけ利益もでているのに、それに見合うキャッシュがない」、「いい決算が組めたけれど、税金を納める資金が不足している」「いったいお金はどこいったのでしょうか?」というお言葉をたまにいただきます。すべて現金でご商売されているのであればおそろしくこういったことは起こらないのですが、ご商売の規模が大きくなるにつれ信用(売掛・買掛)取引が多くなったり、手形取引が増えたりするとこういった現象は起こりやすくなります。結局のところ、売上げた代金の回収時期と、支払う経費や返済金、投資のために支出した資金とのアンバランスからこういった事態が発生します。このような「勘定合って銭不足」「黒字倒産」という状況にならないように弊社では計画作成の一環として、資金繰り計画作成のお手伝いをしています。

1年間の資金繰り計画表

資金繰り計画は図の表のように毎月ごとに予測を交えながら作成することが基本となります。資金的にひっ迫している場合には日ごとや週ごとの資金繰り表も作成し、資金を

見える化します。毎月の収入と支出や、突発的な支払、借入(返済)、投資などを、予測できる限りこの表に記入し、次月に繰り越す残高が赤字にならないようにコントロールします。もし赤字になる場合どこに原因があるのかを探り、早めに金融機関などに打診することで最悪の事態を避けるとともに、どこで資金繰りが好転し、借入れた資金を返済できるか等を明らかにします。予測した数値と実際の数値に差異がでることもありますが、毎月繰り返すことで精度があがります。

以前とある社長様から「毎月支払手形の期限が無事に過ぎるまで気が気でない。どうしたら資金繰りがよくなるのか?」とご質問いただきました。それまで資金繰りを後回しにされがちな社長様とまずは一緒に資金繰り表を作成することにしました。そうすると売掛金の入金と入金と支払いが翌月、支払手形の期限が3か月後となり、入金と支払の大きなアンバランスがあることがわかりました。そこから得意先へお願いをして、入金を早くし、必要によっては値引きしてでも入金時期を早めました。受取手形を割引いたり、廻し手形にし、それでも不足する運転資金は銀行から借りることによって賅った結果、2年かけてその会社は支払手形を発行しなくてもよい会社になりました。

それからその社長様は毎月の資金繰りに悩まされることなく、銀行の評価も高まり、本業に専念し今日も飛び回っておられます。企業経営において「利益」と「資金」は車の両輪であり、どちらかだけでは決して安定した経営はできません。どちらも黒字になるように計画を立てながら、企業の成長を促しましょう。

【名南セミナー情報】

- ◆「企業戦略をカタチにする!経営戦略立案セミナー-信長の日」 開催予定日: 11月8日(木)、12月11日(火)、1月9日(水)
- ◆「来春以降連綿する労働関係法改正セミナー」大反響により日程追加 開催予定日: 11月20日(火)

右記HPよりお申込みください。名南コンサルティングネットワーク http://www.meinan.net/

名南税理士法人豊田事務所
お問合せ: 豊田市若宮町2-31 カーニープレイス豊田4F TEL:0565-37-8820 E-mail:k-saburi@meinain.net (担当:佐分、石垣)

セミナー開催情報